

令和5年度 第2回
蕨市消防委員会



日時 令和6年2月7日（水）

午後3時 開会

場所 蕨市消防本部 2階会議室

令和5年度 第2回
蕨市消防委員会 次第

1 開 会

2 消防委員長挨拶

3 消防長挨拶

4 議 題

(1) 令和5年中の火災・救急の概要について

(2) 令和6年度消防本部所管歳出予算（案）の概要について

(3) 令和6年春季全国火災予防運動について

5 閉 会

令和5年中の火災・救急の概要について

① 年別火災状況

年 別	火 災 件 数								焼 損 床 面 積 (㎡)	死 者	負 傷 者	
	合 計	火 災 種 別						車 両				そ の 他
		火 元 建 物					ほ や					
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ほ や						
令和5年	21	10	2	0	0	8	0	11	249.9	2	2	
令和4年	17	12	1	2	3	6	0	5	150.2	0	8	
前 年 比	4	-2	1	-2	-3	2	0	6	99.7	2	-6	

※焼損床面積については、調査中のものがあるため、今後数値に変更があります。

② 火災原因

年 別	たばこの不始末	コンロ	電灯・電話線等の配線	ストーブ	たき火	放火	放火の疑い	火遊び	その他	不明・調査中	合 計
令和5年	3	3	0	0	0	6	2	1	2	4	21
令和4年	3	2	1	1	0	4	3	0	2	1	17
前 年 比	0	1	-1	-1	0	2	-1	1	0	3	4

③ 地区別火災件数

年 別	錦町	北町	中央	南町	塚越	合計
令和5年	2	3	7	3	6	21
令和4年	3	3	3	2	6	17
前 年 比	-1	0	4	1	0	4

議題1-2

令和5年中 救急統計

救急出動件数及び搬送人員

	出動件数	搬送人員
令和5年	4,694件	3,718人
令和4年	4,514件	3,573人
増減数	180件	145人
増減比	4.0%	4.1%

事故種別別 救急出動状況 (出動割合及び搬送割合)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	医師搬送	資材搬送	その他
出動件数	4,694	30	1	0	215	23	22	751	35	48	3,374	152	0	0	43
出動割合	100%	0.6%	0.0%	0.0%	4.6%	0.5%	0.5%	16.0%	0.7%	1.0%	71.9%	3.2%	0.0%	0.0%	0.9%
搬送人員	3,718	3	1	0	179	22	21	636	16	34	2,646	160			
搬送割合	100%	0.1%	0.0%	0.0%	4.8%	0.6%	0.6%	17.1%	0.4%	0.9%	71.2%	4.3%			

事故種別別 出動件数及び前年比 (件)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	医師搬送	資材搬送	その他
令和5年	4,694	30	1	0	215	23	22	751	35	48	3,374	152	0	0	43
令和4年	4,514	44	0	0	207	30	17	709	37	34	3,233	138	0	0	65
増減数	180	-14	0	0	8	-7	5	42	-2	14	141	14	0	0	-22
増減比	4.0%	-31.8%	0.0%	0.0%	3.9%	-23.3%	29.4%	5.9%	-5.4%	41.2%	4.4%	10.1%	0.0%	0.0%	-33.8%

事故種別別 搬送人員及び前年比 (人)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他
令和5年	3,718	3	1	0	179	22	21	636	16	34	2,646	160
令和4年	3,573	7	0	0	183	28	17	639	20	25	2,516	138
増減数	145	-4	0	0	-4	-6	4	-3	-4	9	130	22
増減比	4.1%	-57.1%	0.0%	0.0%	-2.2%	-21.4%	23.5%	-0.5%	-20.0%	36.0%	5.2%	15.9%

年齢区分別 搬送人員及び前年比 (人)

	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
令和5年	3,718	7	239	149	1,204	2,119
令和4年	3,573	16	193	104	1,213	2,047
増減数	145	-9	46	45	-9	72
増減比	4.1%	-56.3%	23.8%	43.3%	-0.7%	3.5%

傷病程度別 搬送人員及び前年比 (人)

	合計	軽症	中等症	重症	死亡	その他
令和5年	3,718	2,108	1,347	240	23	0
令和4年	3,573	2,012	1,280	254	27	0
増減数	145	96	67	-14	-4	0
増減比	4.1%	4.8%	5.2%	-5.5%	-14.8%	0.0%

令和5年中 搬送医療機関

医療機関名称	令和5年	令和4年	前年比	割合
戸田中央総合病院（戸田市）	1048	940	108	28.2%
済生会川口総合病院（川口市）	461	418	43	12.4%
蕨市立病院（蕨市）	427	439	-12	11.5%
公平病院（戸田市）	255	89	166	6.9%
川口市立医療センター（川口市）	235	241	-6	6.3%
中島病院（戸田市）	182	191	-9	4.9%
かわぐち心臓呼吸器病院（川口市）	166	140	26	4.5%
益子病院（川口市）	160	194	-34	4.3%
川口市立医療センター救命救急センター（川口市）	98	96	2	2.6%
板橋中央総合病院（東京都）	65	42	23	1.7%
安東病院（川口市）	64	75	-11	1.7%
埼玉協同病院（川口市）	55	75	-20	1.5%
東京北医療センター（東京都）	52	49	3	1.4%
医療法人秋葉病院（さいたま市）	50	71	-21	1.3%
帝京大学医学部附属病院（東京都）	28	22	6	0.8%
さいたま赤十字病院（さいたま市）	23	21	2	0.6%
川口工業総合病院（川口市）	20	25	-5	0.5%
さいたま市立病院（さいたま市）	18	10	8	0.5%
自治医科大学附属さいたま医療センター（さいたま市）	18	29	-11	0.5%
その他	293	406	-113	7.9%
合 計	3,718	3,573	145	100%

令和6年度消防費（消防本部所管）
歳出予算（案）の概要について

（単位：千円）

区 分	令和6年度予算額	令和5年度予算額	比 較
消 防 費 (消防本部所管)	891,688	860,107	31,581
01 常備消防費	824,138	774,111	50,027
一般職人件費	718,722	705,107	13,615
消防事務費	6,324	5,387	937
消防・救急活動費	63,489	27,935	35,554
職員研修費	3,952	4,664	△ 712
消防庁舎管理費	16,644	20,245	△ 3,601
消防庁舎等改修事業	4,180	0	4,180
消防車両管理費	10,827	10,773	54
02 非常備消防費	20,850	19,648	1,202
消防団員活動費	19,524	18,246	1,278
消防団施設管理費	375	374	1
消防団車両管理費	951	1,028	△ 77
03 消防施設費	46,700	66,348	△ 19,648
消火栓等維持管理費	11,760	5,849	5,911
消火栓等整備事業	7,163	10,515	△ 3,352
災害救助用資機材 搬送車整備事業	0	26,495	△ 26,495
消防ポンプ 自動車整備事業	27,777	23,489	4,288

令和6年度主な消防歳出予算（案）について

1 常備消防費（消防・救急活動費）

半自動除細動器 予算額 3,491,290 円



（イメージ）

2 常備消防費（消防庁舎等改修事業）

消防庁舎改修工事設計委託 予算額4,180,000円 ※市債4,100,000円



（現在の仮眠室）

3 非常備消防費（消防団員活動費）

①クールベスト(熱中症対策資機材21着) 予算額 277,200円



(イメージ)

②救助避難ボート(2艇) 予算額 1,279,000円



(イメージ)

4 消防施設費（消防ポンプ自動車整備事業）

消防ポンプ自動車 予算額 27,777,000円 ※市債 27,700,000円



(イメージ)

令和6年春季全国火災予防運動実施要綱

1 目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とする。

2 防火標語（2023年度全国統一防火標語）

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

3 実施期間

令和6年3月1日（金）から3月7日（木）まで

4 本予防運動中の重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- (3) 放火火災防止対策の推進
- (4) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (5) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (6) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

5 蕨市において実施する内容

- (1) 本運動初日に、JR蕨駅の協力のもと、西口、東口において広報活動を実施する。
- (2) 放火防止対策を広報する。
- (3) 蕨駅・消防庁舎に火災予防横断幕・懸垂幕を掲げる。
- (4) 蕨駅・大型店舗等に電光掲示板や放送による広報を実施する。
- (5) 防災行政無線により広報を実施する
- (6) 消防車両・消防団車両・危険物運搬車両に火災予防運動のマグネットシートを貼付し、消防車両・消防団車両にて適宜広報を実施する。
- (7) 広報わらびに火災予防啓発文を掲載する。
- (8) 蕨市公式ホームページの当消防本部のページにおいて、住宅用火災警報器の普及啓発を図る。
- (9) ケーブルテレビ（WINK）にて火災予防運動を周知する。
- (10) 住宅防火「いのちを守る10のポイント」を活用し広報を実施する。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

—4つの習慣・6つの対策—

4つの習慣

1. 寝たばこは絶対にしない、させない。
2. ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

6つの対策

1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は**安全装置**の付いた機器を使用する。
2. 火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、**防炎品**を使用する。
4. 火災を小さいうちに消すために、**消火器等**を設置し、使い方を確認しておく。
5. お年寄りや体の不自由な人は、**避難経路と避難方法**を常に確保し、備えておく。
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの**防火対策**をおこなう。

《住宅防火いのちを守る 10 のポイントの考え方》

●火災を発生させない（出火防止）

【習慣1～4、対策1】



●早く知る・気づく（早期覚知対策）

【対策2】



●燃え広がらせない（延焼拡大防止）

【対策3】



●火災の初期の段階で消火する
（初期・早期消火対策）

【対策4】



●危ないと判断したら、素早く避難する
（早期避難）

【対策5】

●隣近所との
協力体制を構築する

【対策6】





蕨 市 消 防 委 員 会